

第 3 章 財 務

第3章 財 務

第1 収益的収支

1 医業収益

医業収益は57,881,812千円で、前年度に比べ14,820千円(△0.03%)の減となり、前年度と同程度だった。これは、診療内容の充実等により診療単価が増加した一方で患者数が減少したこと等によるものである。

2 医業費用

医業費用は71,361,972千円で、前年度に比べ1,380,977千円(+2.0%)の増となった。これは、退職者数の増加に伴う退職給付費の増加や給与改定等による給与費の増加、高額薬品使用の増加による材料費の増加などによるものである。

3 純損益

費用の増加が収益の増加を上回ったため、当年度の純損失は1,800,573千円となり、前年度に比べて1,016,604千円悪化した。

4 要素別費用(看護専門学校及び局本庁の収益費用を除く。)

収益(100円)当たりの要素別費用は、附表44のとおり100円の収益を実現するのに123.5円の原因を要したことになる。

また、患者1人1日当たりの要素別費用は、附表45のとおり、36,700円と前年度に比べ1,404円増加している。

要素別費用

附表44 収益(100円)当たり要素別費用

(単位:円)

年度	区分	給与費	医療療消耗材備品費	給食食消耗材備品費	研究研修費	資産価減償却費	医業外費用	特別損失	計
25		62.4	27.6	0.9	16.4	6.9	3.2	0.3	117.7
26		64.0	27.7	0.9	16.7	7.1	3.5	4.2	124.1
27		65.3	29.2	0.9	15.7	8.4	3.4	0.0	122.9
28		64.1	29.8	0.8	15.6	8.2	3.2	0.2	121.9
29		62.8	30.4	0.8	16.1	7.9	3.0	0.0	121.0
30		64.5	31.0	0.9	16.4	7.7	3.0	0.0	123.5

(注) 看護専門学校及び病院局本庁分を除く。

(注) 28年度より旧六日町、小出病院分を除く。

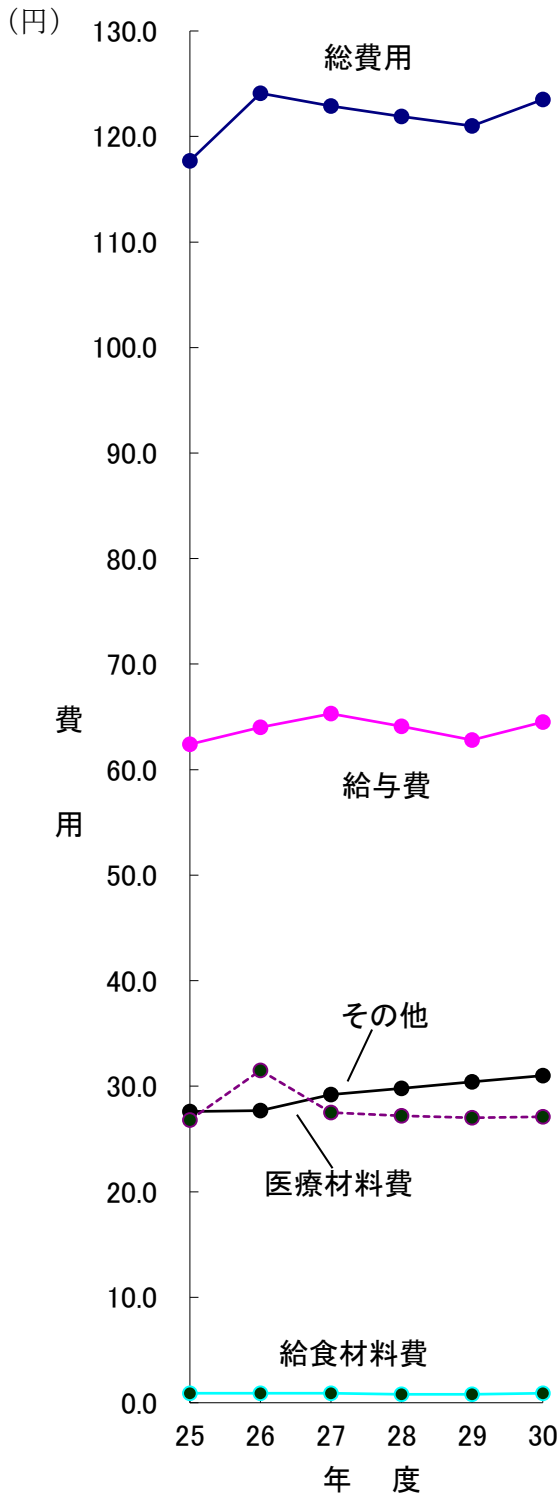
附表45 患者1人1日当たり要素別費用

(単位:円:%)

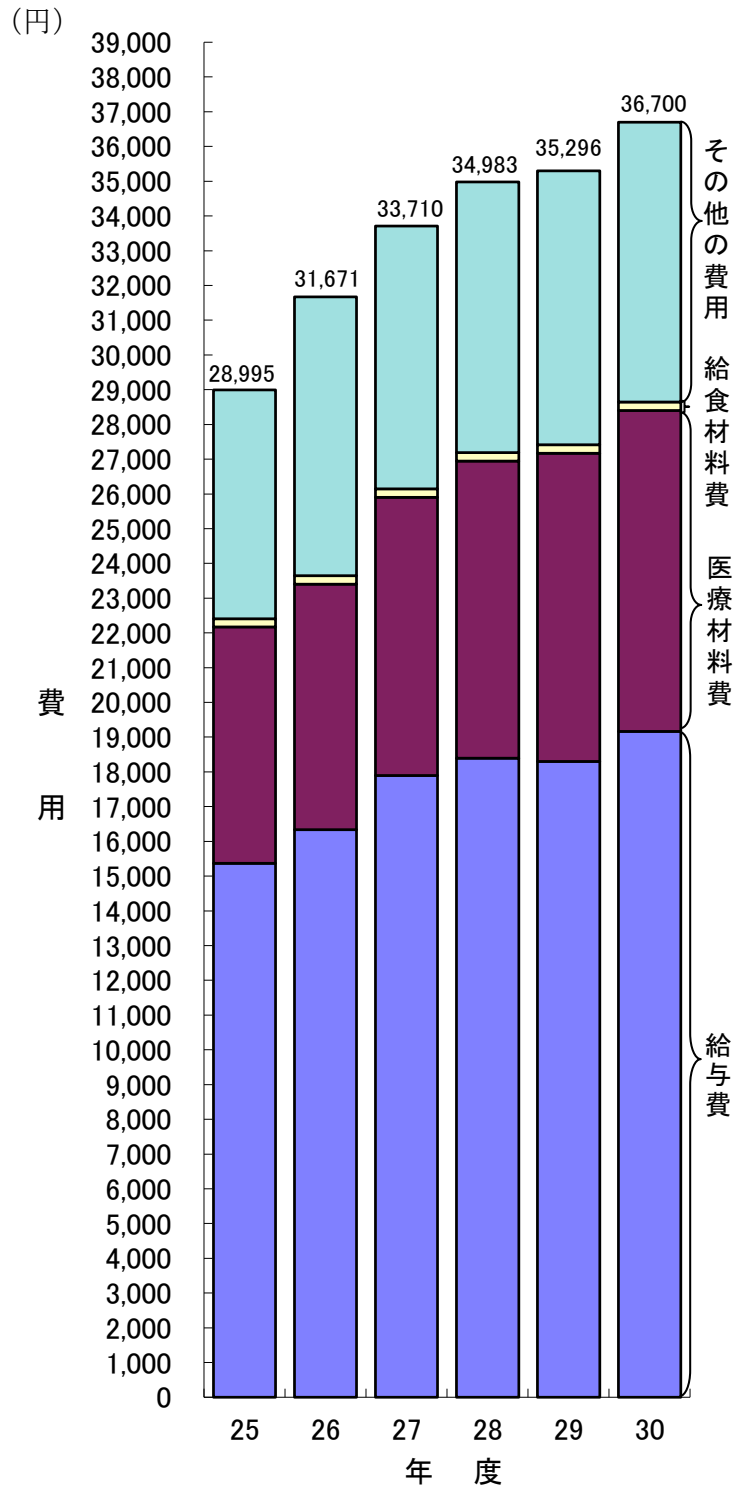
年度	区分	給与費	医療療消耗材備品費	給食食消耗材備品費	研究研修費	資産価減償却費	医業外費用	特別損失	計	前増年減(△対)比率
25		15,364	6,811	233	4,042	1,704	777	64	28,995	2.0
26		16,336	7,067	241	4,262	1,805	885	1,075	31,671	9.2
27		17,891	8,011	244	4,313	2,310	941	0	33,710	6.4
28		18,390	8,555	243	4,462	2,351	924	58	34,983	3.8
29		18,302	8,870	243	4,693	2,311	877	0	35,296	0.9
30		19,166	9,235	243	4,878	2,281	896	1	36,700	4.0

(注) 看護専門学校及び病院局本庁分を除く。

図表10 収益(100円)当たり要素別費用



図表11 患者1人1日当たり要素別費用



第2 資本的収支

資本的収入は、前年度に比べ総額76,927千円(1.3%)の減となった。

主なものは、企業債の減である。

資本的支出は、前年度に比べ総額202,723千円(2.1%)の減となった。

主なものは、建設改良費の減である。

附表46 資本的収支年度別比較

(単位：千円・%)

科 目	26		27		28		29		30		
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
資本的収入	固定資産売却代	—	293,986	—	15,106	5.1	—	0.0	475,977	—	
	投資回収金	3,170	160.3	115,365	3,639.3	1,312,930	1,138.1	401,766	30.6	100,994	25.1
	企業債	5,950,000	272.6	5,763,000	96.9	3,955,500	68.6	3,663,000	92.6	3,321,800	90.7
	出資金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	他会計借入金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	寄付金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	補助金	421,261	779.2	2,028,257	481.5	78	0.0	—	0.0	74,842	—
	負担金交付金	1,471,846	258.0	943,282	64.1	2,249,295	238.5	1,679,486	74.7	1,692,715	100.8
	その他資本的収入	27,376	197.5	30,775	112.4	1,772	5.8	759	42.8	1,756	231.4
計(A)	7,873,653	278.9	9,174,665	116.5	7,534,681	82.1	5,745,011	76.2	5,668,084	98.7	
資本的支出	建設改良費	6,570,283	284.6	8,122,907	123.6	4,250,856	52.3	3,942,057	92.7	3,708,400	94.1
	無形固定資産費	30	4.4	391	1,303.3	352	90.0	352	100.0	352	100.0
	投資	2,892	190.0	1,404	48.5	1,484	105.7	1,588	107.0	1,543	97.2
	償還金	5,500,509	112.6	6,094,115	110.8	6,084,769	99.8	5,838,313	95.9	5,869,293	100.5
	(うち企業債償還金)	5,500,509	112.6	6,094,115	110.8	6,084,769	99.8	5,838,313	95.9	5,869,293	100.5
	その他資本的支出	—	—	829	—	—	0.0	1	—	0	0.0
計(B)	12,073,714	167.8	14,219,646	117.8	10,337,461	72.7	9,782,311	94.6	9,579,588	97.9	
翌年度繰越財源(C)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
差引過不足(△)額 (A)-(B)-(C)	4,200,061	—	5,044,981	—	2,802,780	—	4,037,300	—	3,911,504	—	
補てん財源	前年度からの繰越 財源充当額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	一般会計繰入金 (特別利益)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	損益勘定 留保資金他	4,200,061	—	5,044,981	—	2,802,780	—	4,037,300	—	3,911,504	—
	計	4,200,061	—	5,044,981	—	2,802,780	—	4,037,300	—	3,911,504	—

第3 資産・負債および資本

平成30年度末における資産総額は67,389,982千円となり、前年度に比較して3,547,487千円(5.0%)減少した。減少の主なものは固定資産△1,904,758千円(3.2%)である。

負債は、総額69,492,431千円となり、前年度に比較して1,807,313千円(2.5%)減少した。減少の主なものは固定負債△1,059,837千円(2.3%)である。

資本は、総額△2,102,449千円となり、前年度に比較して1,740,174千円(480.3%)減少した。減少は剰余金1,740,174千円(5.9%)である。

また、最近5年間の資金運用状況は附表47のとおりである。

附表47 資金運用表

(単位:円)

区分		年度	26	27	28	29	30
長期	源	固定負債の増加	48,861,538,898	437,260,997			
		繰延収益の増加	4,986,429,589	1,764,777,264	304,483,301		52,844,797
	泉	資本金の増加					
		剰余金の増加		127,661,033			
		繰延勘定の減少	2,046,471,814				
		固定資産の減少			4,058,305,309	1,239,404,398	1,904,757,691
	計 A	55,894,440,301	2,329,699,294	4,362,788,610	1,239,404,398	1,957,602,488	
資金	使	固定資産の増加	2,421,139,386	2,534,132,090			
		繰延勘定の増加					
	途	固定負債の減少			1,172,578,016	1,884,716,296	1,059,836,706
		繰延収益の減少				89,661,177	
		資本金の減少	50,903,430,590				
		剰余金の減少	11,664,706,044		939,655,736	725,177,472	1,740,174,034
	計 B	64,989,276,020	2,534,132,090	2,112,233,752	2,699,554,945	2,800,010,740	
純運転資本の源泉増額							
A - B		△ 9,094,835,719	△ 204,432,796	2,250,554,858	△ 1,460,150,547	△ 842,408,252	
短期	源	流動負債の増加	9,572,044,081	3,231,528,458		2,997,973,527	
		流動資産の減少			3,287,515,118		1,642,729,807
	計 C	9,572,044,081	3,231,528,458	3,287,515,118	2,997,973,527	1,642,729,807	
資金	使	流動資産の増加	477,208,362	3,027,095,662		1,537,822,980	
		流動負債の減少			5,538,069,976		800,321,555
	計 D	477,208,362	3,027,095,662	5,538,069,976	1,537,822,980	800,321,555	
純運転資本の使途増減							
D - C		△ 9,094,835,719	△ 204,432,796	2,250,554,858	△ 1,460,150,547	△ 842,408,252	

第4 一般会計繰入金

1 収益的収入繰入金

収益的支出に充てるため、一般会計から繰入を受けた額は、附表48のとおり総額 11,973,858千円で、前年度に比べ 609,805千円(前年度比+5.4%)の増となった。これは、不採算地区病院運営経費や特殊病院運営経費、リハビリ医療経費の繰入金が増加したことが主な理由である。

附表48 一般会計繰入金(収益的収入)一覧表

(単位:千円)

一般会計 支出区分	項 目	26	27	28	29	30
病院 事業 運営 事業 費	救急医療	1,427,082	1,508,667	1,366,321	1,395,405	1,393,470
	集団検診	169,827	128,573	147,192	154,161	159,691
	不採算地区病院	1,364,607	1,558,812	1,892,063	1,838,618	1,925,293
	特殊病院	2,392,947	2,049,951	2,163,201	1,859,594	2,083,632
	がん高度医療不採算	752,094	0	0	0	0
	高度医療不採算	179,222	2,359,131	2,317,893	943,770	934,227
	起債利息	987,046	925,839	873,420	808,032	747,274
	その他	4,011,859	4,510,527	3,976,950	4,088,050	4,417,182
	がん研究費	14,578	14,578	14,578	14,578	14,578
	小計	11,299,262	13,056,078	12,751,618	11,102,208	11,675,347
	看護師養成費	197,056	178,127	213,590	249,775	286,591
合 計		11,496,318	13,234,205	12,965,208	11,351,983	11,961,938
防疫 対策費	感染症予防費	14,750	13,217	12,582	12,070	11,920
繰入金総計		11,511,068	13,247,422	12,977,790	11,364,053	11,973,858
病院事業 貸付金	運転資金借入金	0	0	0	0	0
総 合 計		11,511,068	13,247,422	12,977,790	11,364,053	11,973,858

2 資本的収入繰入金

資本的支出に充てるため、一般会計から繰入れを受けた額は、総額1,694,564千円で、前年度に比べ、16,971千円(1.0%)の増となった。

なお、一般会計から建設改良資金(無利子)の借入れは行わなかった。

附表49 一般会計繰入金（資本的収入）一覧表

(単位：千円)

一般会計 支出区分	項 目	25	26	27	28	29	30
病 院 事 業	施設整備費	23,272	68,242	71,049	93,767	81,088	89,896
	起債元金	547,275	1,405,456	872,192	2,159,413	1,595,745	1,602,912
	小 計	570,547	1,473,698	943,241	2,253,180	1,676,833	1,692,808
助 成 費	がん研究費						
	原子力発電施設等緊急 時安全対策交付金						
	看護師養成費	12,878	2,926	1,782	1,772	760	1,756
合 計		583,425	1,476,624	945,023	2,254,952	1,677,593	1,694,564
救急医療 対 策 費	災害派遣医療チーム 体制整備費補助金						
	NBC・テロ対策受入体制 設備整備費補助金						
繰 入 金 総 計		583,425	1,476,624	945,023	2,254,952	1,677,593	1,694,564
病院事業 貸付金	建設改良等 借入金						
総 合 計		583,425	1,476,624	945,023	2,254,952	1,677,593	1,694,564

第5 企業債借入及び償還状況

1 企業債借入状況

建設改良費の財源に充てるため、総額3,321,800千円の借り入れを行ったが、その内訳は次のとおりである。

(単位：千円)

区分	事業名	借入先	借入金額
繰前 越年 分度	病院増改築事業等	地方公共団体金融機構	354,600
	小計		354,600
当 年 度 分	病院整備事業等	地方公共団体金融機構	1,017,200
	施設整備事業	(株)第四銀行	163,000
	〃	(株)北越銀行	163,000
	〃	(株)大光銀行	62,000
	医療器械等整備事業	(株)第四銀行	656,000
	〃	(株)北越銀行	656,000
	〃	(株)大光銀行	250,000
	小計		2,967,200
	合計		3,321,800

附表50 企業債借入の年度別推移

(単位：千円)

用途	借入先	26	27	28	29	30
建設 改良 事業	財務省					
	地方公共団体金融機構	557,000	3,633,000	2,029,500	2,475,000	1,371,800
	第四銀行	2,367,000	895,000	808,700	499,000	819,000
	北越銀行	2,192,000	895,000	808,700	499,000	819,000
	大光銀行	834,000	340,000	308,600	190,000	312,000
	合計	5,950,000	5,763,000	3,955,500	3,663,000	3,321,800

附表51 建設改良費の企業債依存度

(単位：千円)

区 分	26	27	28	29	30
建設改良費 A	6,570,283	8,122,907	4,250,856	3,942,058	3,708,400
企業債 B	5,950,000	5,763,000	3,955,500	3,663,000	3,321,800
B/A×100 (%)	90.6	70.9	93.1	92.9	89.6

2 企業債償還状況

借入企業債の償還及び未償還の状況は、附表52のとおりである。

附表52 企業債償還及び未償還残高の年度別推移

(単位：千円)

用 途	借入先	26		27		28		29		30	
		償還高	未償還高	償還高	未償還高	償還高	未償還高	償還高	未償還高	償還高	未償還高
建設改良 事業債	財務省	2,147,592	33,603,617	2,204,224	31,399,393	2,269,695	29,129,698	2,337,356	26,792,342	2,364,319	24,428,023
	金融機構	426,123	7,911,057	410,028	11,134,029	414,529	12,749,000	435,907	14,788,093	440,782	15,719,111
	第四銀行	1,051,238	5,459,389	1,419,087	4,935,302	1,500,083	4,243,919	1,359,784	3,383,135	1,372,814	2,829,321
	北越銀行	1,188,593	4,916,300	1,485,984	4,325,316	1,376,497	3,757,519	1,235,123	3,021,396	1,225,066	2,615,330
	大光銀行	434,694	1,880,402	574,791	1,645,611	523,965	1,430,246	470,143	1,150,103	466,312	995,791
	小 計	5,248,240	53,770,765	6,094,114	53,439,651	6,084,769	51,310,382	5,838,313	49,135,069	5,869,293	46,587,576
公営企業 退職手当 債	第四銀行	105,953									
	北越銀行	105,953									
	大光銀行	40,363									
	小 計	252,269	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		5,500,509	53,770,765	6,094,114	53,439,651	6,084,769	51,310,382	5,838,313	49,135,069	5,869,293	46,587,576

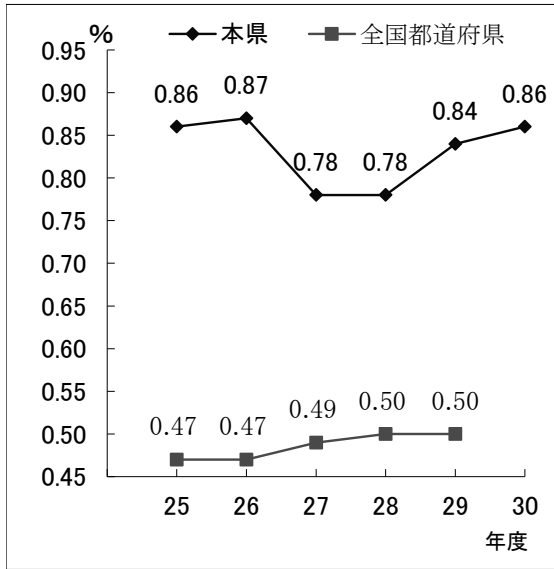
第6 主要財務比率

6年間の主要財務比率は附表53のとおりである。このうち主な比率についてみると、総資本回転率(図表A)は前年度に比べ0.02ポイント改善した。

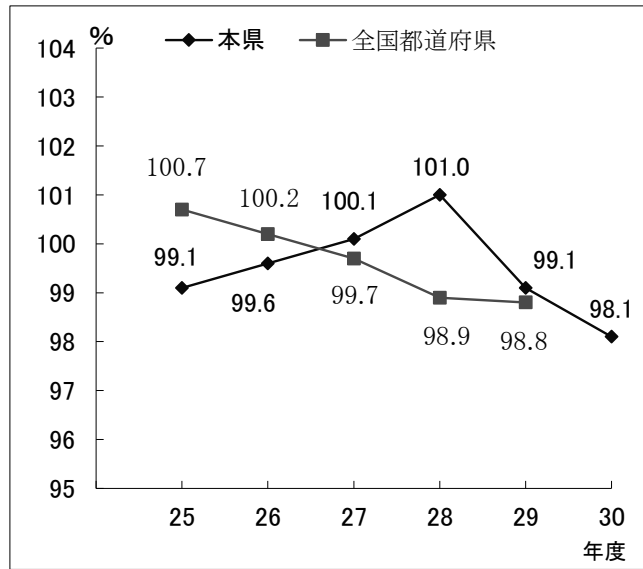
収益、費用の関連比率では、経常収益対経常費用比率(図表B)は1.0ポイント下降し、医業収益対医業費用比率(図表C)は1.6ポイント下降した。

企業の支払い能力を示す流動比率(図表D)は前年度に比べ6.6ポイント下降した。また、現金比率は10.5ポイント下降した。

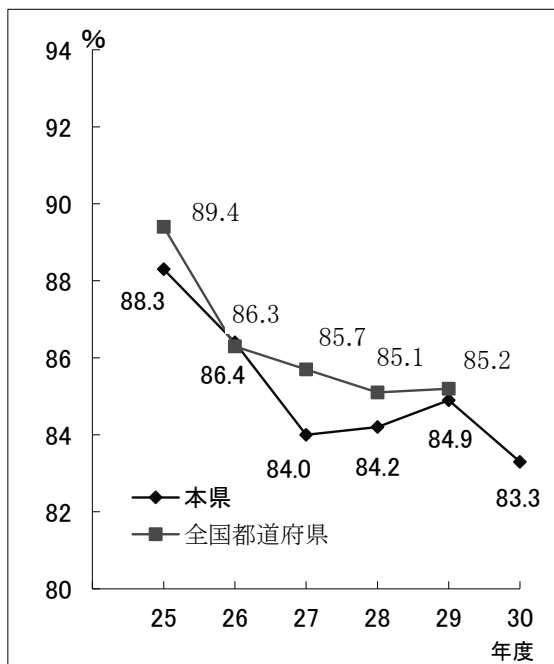
(図表A) 総資本回転率の推移



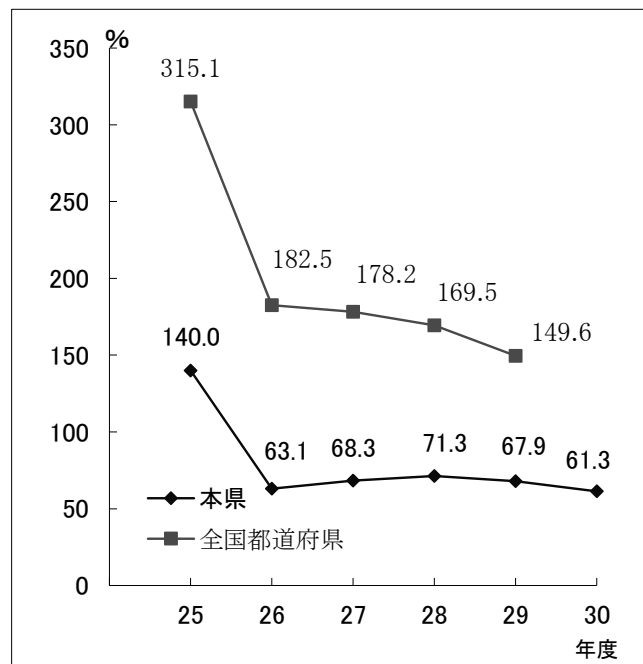
(図表B) 経常収益対経常費用比率の推移



(図表C) 医業収益対医業費用比率の推移



(図表D) 流動比率の推移



附表53 主要財務比率表

区 分	算 式	25	26	27	28	29	30
総資本回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{1/2(\text{期首} \cdot \text{期末総資本})}$	0.86	0.87	0.78	0.78	0.84	0.86
固定資産回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{1/2(\text{期首} \cdot \text{期末固定資産})}$	1.04	1.04	0.93	0.93	1.00	1.02
流動資産回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{1/2(\text{期首} \cdot \text{期末流動資産})}$	5.72	6.06	4.83	4.86	5.35	5.38
貯蔵品回転率	$\frac{\text{貯 蔵 品 払 出 額}}{1/2(\text{期首} \cdot \text{期末貯蔵品})}$	91.7	70.8	65.6	63.2	62.5	67.9
未収金回転率	$\frac{\text{医 業 収 益}}{1/2(\text{期首} \cdot \text{期末未収金})}$	6.4	6.3	5.4	5.6	6.5	6.4
経常収益対 経常費用比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100(\%)$	99.1	99.6	100.1	101.0	99.1	98.1
医業収益対 医業費用比率	$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100(\%)$	88.3	86.4	84.0	84.2	84.9	83.3
企業債償還額対 減価償却費比率	$\frac{\text{企業債償還額}}{\text{減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100(\%)$	105.5	204.6	186.1	220.9	204.0	215.7
固定資産対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100(\%)$	92.3	111.2	110.9	107.4	110.5	112.7
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100(\%)$	140.0	63.1	68.3	71.3	67.9	61.3
当座比率	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100(\%)$	135.1	60.9	66.4	65.3	65.5	58.9
現金比率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100(\%)$	0.6	0.2	9.0	1.6	12.9	2.4

(注1) 本表は、地方公営企業年鑑(総務省編集)数値を用いた。従って、医業収益には地方公営企業法第17条の2第1項第1号の他会計負担金(救急医療、集団検診等の経費)が含まれている。

(注2) 平成26年度は会計基準見直しの最初適用事業年度であることにより一部比率が前年度から大きく変動している。